

News Release

2025 年 3 月 31 日
ステラファーマ株式会社

米国臨床腫瘍学会(ASCO) 2025 年次総会における再発高悪性度 髄膜腫の臨床試験に関する演題採択に関するお知らせ

2025 年 5 月 30 日から 6 月 3 日まで、米国イリノイ州シカゴにて開催される「米国臨床腫瘍学会(American Society of Clinical Oncology : ASCO) 2025 年次総会」において、当社がホウ素薬剤として開発中のボロファラン(^{10}B) (開発コード: SPM-011) を使用した BNCT (Boron Neutron Capture Therapy : ホウ素中性子捕捉療法^{※1}) による再発高悪性度髄膜腫^{※2}を対象とした第 II 相医師主導臨床試験^{※3} (以下、「本試験」) の結果に関する演題がポスターセッションに採択されたことをお知らせいたします。

尚、本試験は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の支援を受けて実施されたものであり、加速器を用いた BNCT としては世界初のランダム化比較試験^{※4}になります。

このポスターセッションは、本試験の治験調整医師を務められた学校法人大阪医科薬科大学 宮武 伸一先生により行われる予定です。

採択された演題タイトルは以下の通りで、抄録、発表日時は 5 月下旬に公開される予定です。

【演題タイトル】

” Accelerator-based boron neutron capture therapy, a randomized controlled trial for refractory recurrent high-grade meningiomas.”

ASCO は年に 1 回開催されるがん治療に関する世界最高峰の学会であり、2024 年の参加者は約 4 万 5 千人でした。世界中で研究されているがん治療の最新知見が発表され、また影響力の大きい学会であることから、世界のあらゆる分野のがん治療研究者が応募することもあり、採択率も 10% 程度と非常に狭き門であることでも有名です。

以上

※1 BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)

ホウ素中性子捕捉療法とは放射線治療の一種であり、ホウ素を含む医薬品と放射線の一種である中性子照射を組み合わせ、体へのダメージが小さく、高い治療効果が期待される新しいがん治療法です。

※2 髄膜腫

髄膜とは、脳と脊髄を保護している薄い組織層で、髄膜腫とはその内側の層の一つにできる脳腫瘍の一種です。髄膜腫は良性 (WHO grade 1) であることが多い疾患ですが、悪性度が高い場合 (WHO grade 2, 3) には、脳、脳血管、頭蓋骨などに深く浸潤し、再発を繰り返します。また、肺などの他臓器への転移を生じることもあります。再発した場合には、手術や放射線治療 (X 線外照射) が適用されますが、その治療効果には限界があり、有効な治療は確立されていません。

※3 医師主導臨床試験

医師主導臨床試験とは、医師が自ら医薬品の製造販売承認のための臨床試験を企画・立案し、治験計画届を提出して実施する臨床試験です。得られた臨床データは、被験薬を提供した製薬会社が引き継ぎ、当該医薬品の薬事承認申請に活用されます。

※4 ランダム化比較試験

ランダム化比較試験とは対象者を無作為(ランダム)に2つ以上の群に分け、一方には従来の治療法を、もう一方には新規の治療法を行い、事後の健康状態を観察し、比較することで治療法などの効果を検証する試験です。

ステラファーマ株式会社について

当社は、企業理念として『ひとりのかけがえのない命のために、ステラファーマは世界の医療に新たな光を照らします。』を掲げ、「ひとりのかけがえのない命のために」それぞれの使命を実行することを行動指針の基盤とし、「世界の医療に新しい光を照らす」ことを経営目標の策定方針としています。

当社はこの企業理念に基づき、がん患者に対する新たな治療の選択肢として BNCT を実用化するため、創業以来、BNCT ホウ素薬剤の研究及び開発に取り組んでいます。

詳細は当社ホームページをご参照ください。

<https://stella-pharma.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

ステラファーマ株式会社 総務部

(TEL) 06-4707-1516

(E-mail) <https://stella-pharma.co.jp/otioawase/#ir>